

My

COOL
CHOICE

2022

vol. 2

私のクールチョイスは
ものを長く使うこと、
大切に使うこと。

山口市大に「アトリエa.p.r.」を構える
ファッションデザイナーの片山涼子さんが創り出すのは、
古い着物をリメイクした洋服や小物たち。
古き良きものを愛してやまない片山さんが取り組む
クールチョイスについてお話を伺いました。

着物のリメイクで
日本の心をつなぐ

山口県立大学で服飾を学び、ファッションデザイナーになりました。現在は、「自身が生み出したひとかけらの作品が、それを身につけてくれる人の体の一部のような存在になってほしい」をコンセプトにしたブランド「a piece by yoko katayama」を立ち上げ、山口市大の「アトリエa.p.r.」で日々創作活動に力を注いでいます。

私手がける作品はほぼ「一点モノ」で、その多くが古い着物をリメイクしたものです。自分で着物や古布を探し歩くこともあります。お客様が着な

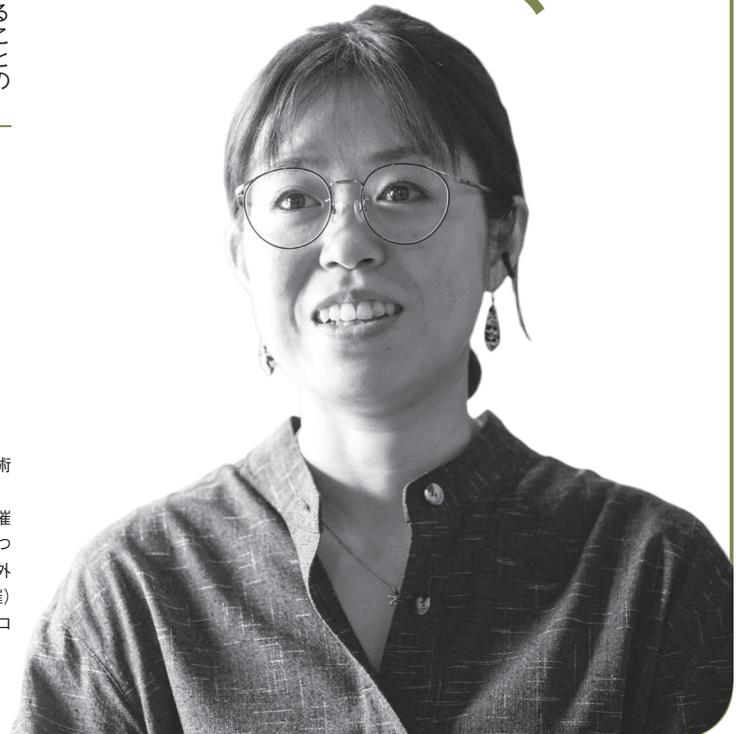
くなった着物を持って来られることの方が多いですね。「形を変えて長く使い続けたい」というお客様のお話を聞くと、日本人にはやっぱり古くから「ものを長く、大切にしたい」という「もったいない精神」が根付いているんだなと思わされます。また、着物一点、帯一本一本には必ず歴史や込められた想いがあり、それを大切にしていきたい、後世につないでいきたいという心も感じます。

私のところにやってきた着物たちはブラウスやワンピースに、帯は髪留めやバッグに姿を変え、再び持ち主のところへ戻り、そこからまた長い時を紡いでいきます。



片山 涼子
(ファッションデザイナー)

アトリエa.p.r.代表/山口芸術短期大学 非常勤講師
2022年3月、東京都内で開催された「地方×世界 未来につなげる特別交流イベント」(外務省、名古屋市、山口市共催)にてファッションショーをプロデュース。





着物は伝統文化であり、 世代を超えた交流を生む貴重なツール

私が作品に着物を取り入れるようになったのは、やはり育った環境が影響していると思います。親の趣味がアンティークの収集で、実家にはいろんなものがありました。古いものでも飾り方や見せ方を変えることで、新しいものにはない魅力が引き出せるのを幼い頃から自然に学んでいたのだと思います。



その流れで古いものを愛おしくよいうになり、着物も好きになりました。そういえば、大学生の頃は、時々着物で登校していましたね。電車の中でご年配の方に「素敵な着物ね」「お若いのに着物が好きなの？」などとよく声をかけられていました。その時、「着物は世代を超えたコミュニケーションツールにもなる」と気づき、着物文化を守っていかねばと思ったのを覚えています。

さらに着物への興味を掻き立てるきっかけになったのは、大学での作品制作でした。作品にはデニム生地を使っていましたが、そこで藍染の技術を学び、まずは「染め」の世界に引き寄せられました。日本で「染め」といえばやっぱり着物。絞り染めや友禅染め、ろうけつ染めなど本当に多彩で美しい着物たちと出合っていくうちに、今度は「織り」の技術にも惹かれ、どんどん着物の素晴らしさ、奥深さにはまっていったんです。

着物は日本の伝統技術が凝縮されたものであり、貴重なコミュニケーションツールでもあると気づいた私は、「たくさんの人に着物を着てもらわねば」と思うようになりました。どうにか着やすい着物が作れないか、着物に親しみを持ってもらうにはどうすべきかと模索するうちに、今の自分の作風が確立されていたのだと思います。



店内には片山さんの作品とアンティークがずらりと並び

古いものが集まる 大殿地域が大好き

「ものを長く使うこと、ものを大切に使うこと」は、私の暮らしにナチュラルに息づいています。なので、古民家をアトリエにしたのも自然な流れでした。おそらく築110年くらいなのですが、すごく気に入っています。暮らせる状態にするために、最小限のリフォームはなされていますが、梁や欄間など随所に歴史が刻まれていて、その風合いがたまりません。「守りたい空間」だからこそ、大切に扱ったり、きちんと手入れしたりと、丁寧な暮らしが実現できています。

また、山口市の歴史や文化が感じられるこの「大殿」という地域自体も大好きです。私の好きな古いものがまちの

あちこちにありますが、とても居心地がいいですね。それに、地域のみなさんが「古き良きもの」を大切に、季節を感じ、自然に寄り添いながら暮らししているのが伝わってきて、私と同じような感覚の方が多いのだろうと勝手に思っています。みんなで地域を活性化しようと頑張っているところもとても素敵だと思います。

自然とやっていた クールチョイス

私が暮らしの中に取り入れているクールチョイスは、ちよっとしたこと、ごくごく普通のことです。この度のインタビューのお話を受け、改めて日常を振り返ってみて気づいたのですが、昔から「ものを長く使う、大切に使う」習慣がありましたから、知らず知らずのうちに取り組んでいたことがほとんどです。

まずは、エコバッグの活用。しかも古い着物をリメイクしたエコバッグを



エコバックを片手に徒歩でお出かけすることも

愛用しています。それと、できるだけ車で出かけること。なるべく買い物は一度で済むよう、買い忘れがないよう気をつけているのと、無駄な買い物はしないよう心がけています。近場なら歩いて出かけることもあります。車で外出する機会は、ここ2〜3年でさらに少なくなりました。コロナ禍のため人との接触を減らしたいのと、燃料の高騰も影響していますが、少なからずCO₂の排出量が削減できていますし、歩くことが増えて、より健康的な暮らしができているのでプラスと捉えています。あとは、夏はとにかく薄着、冬はとにかく厚着を徹底しています。季節に抗うことなく生きることは、生き物として当たり前のことだし、何より地球に優しい暮らし方。暑い、寒いを感じられるのは、四季がある日本の暮らしの醍醐味とも思っています。

旬の食べ物、地の食べ物はできるだけ食事に取り入れていますが、食べ切れる量で売ってなかったり、忙しかった

日々の暮らしの中で 意識することが大切

環境のために私たちの誰もができること、それは「意識すること」だと思います。クールチョイスについて知り、暮らしの中でちよっとだけ意識することで、見えてくるものや行動は変わってきます。頭の片隅にクールチョイスがあれば、普段は車で出かけるころを「今日は歩いて行ってみよう」と思うかもしれませんし、電球を交換するときに「ちよっとでも長く持つLEDにしてみよう」と思うようになるかもしれません。

りして、フリードロスが発生しそうな場合は、スッパりと調理することは諦め、食べられる分だけのお弁当や惣菜を買うこともあります。まずは捨てないことと、必要以上のものを持たないこと。暮らしの中で、これだけは自分のルールとして守っています。だから、ものすごく物持ちはいいですよ。高校生の頃から履いている靴をいまだに履いているくらいです(笑)。

今回のこのインタビューがきっかけとなり、ありがたいことに私は自分のクールチョイスについて考える機会を得ました。すると、自分でも驚くくらいに、生活の中でクールチョイスを意識するようになりました。そして、当たり前のようになり組みました。そして、当たり前のようになり組みました。そして、当たり前のようになり組みました。

今回のこのインタビューがきっかけとなり、ありがたいことに私は自分のクールチョイスについて考える機会を得ました。すると、自分でも驚くくらいに、生活の中でクールチョイスを意識するようになりました。そして、当たり前のようになり組みました。そして、当たり前のようになり組みました。そして、当たり前のようになり組みました。

みんなの小さなクールチョイスの取り組みが、積み重なることによって、大きな力を発揮するのだと思います。一人ひとりの行動が環境を改善し、地球を守り、心地よい暮らしにつながっていきます。何も初めから思い切ったことをする必要はありません。まずはできることから始めてみませんか？ 私にもう一度ライフスタイルを見直して、できることを探っていこうと思います。



アトリエ a.p.r.
山口県山口市大殿大路114-1
TEL. 090-9733-9821
atelier-apr.jp



LEDにエコドライブ! 身近なところから実践

北條 榮太郎 さん

店内の照明は、消費電力が少なく、長く使えるLEDに全て交換済み! 急な加速・減速をしないエコドライブも心がけています。着物やレザー製品のリメイクもしているの、使わなくなった思い出の品を手元に置いておきたいという方はぜひご相談を。今後は残布や廃材を利用した商品開発にも挑戦する予定です!



商品開発にも挑戦する予定です!



創業109年、老舗の呉服専門店
おうみや 近江屋
TEL. 083-922-0194
www.omiya.co.jp



ミツロウラップなど 繰り返し使えるものを 使えるものを

沖川 美季 さん

マイボトルやミツロウラップなど、何度も繰り返し使えるものや、何かを買う時は半永久的に使える物を選ぶようにしています。最近では金継ぎなど、楽しみながら物を大切に暮らすにも興味が出ています。実は3Dプリンタに設置された仕切りも再利用の木材です。来られた際にはぜひご覧になってください!



創業やビジネスの拡大を目指す人の支援施設
mirai 365
TEL. 083-902-1365
mirai365.jp



照明は全てLED! エコバッグの配布も

徂徠 満美子 さん

省エネ、電気代節約のため、店内の照明は全てLEDにしています。また、当店でお買い上げのお客様には、定期的にビニール袋ではなく、オリジナルのエコバッグをプレゼントして、次回のご来店時や日頃のショッピングなどに使ってもらっています。間伐材を再利用したカンフルブロックの作成にも取り組んでいますよ!



子ども服も大人服も扱うセレクトショップ
ワームス
waRmth
TEL. 083-902-3054
www.instagram.com/warmth248



川口 和彦 さん

できるだけペットボトルを使わないよう、晩酌時には炭酸メーカー「ソーダストリーム」で炭酸水を作ったハイボールを楽しんでいます。地球環境に優しいのはもちろんですが、お財布にも優しいのでおすすめです。当店で取り扱っておりますので、興味のある方はご来店の際にぜひご覧になってください!

大正15年創業の
厨房用品と刃物の専門店
すえひろ 末廣
TEL. 083-922-0440
suehirohamono.com



これがわたしのCOOL CHOICE!

山口市中心商店街編

まちのみなさんの声を参考に、あなたにできるCOOL CHOICEを見つけてください!
エコバッグの利用や自転車移動など、実はすでに取り組んでいることもあるはず。



節電と癒しを兼ねて キャンドルを 活用!

佐伯 和章 さん



電気照明器具は使わず、キャンドルだけで過ごす時間を作るようにしています。節電にもつながりますし、何より優しい灯りに癒されるのでおすすめです。きっかけは地元のカヤンドル作家さんとの出会いでした。それ以降、農水産物だけでなく、日用品や装飾品、贈り物などにおいて、地元産地消を意識しています。



山口駅通りにある
小さなアクセサリーショップ
ケーオー シルバー
KO SILVER
TEL. 083-921-5553
www.instagram.com/kosilver950



本多 光太郎 さん

自社のリブランディングを進める中で「包む」ことの在り方を見直し、思い切って包装紙をなくすことにしました! 包装紙は、最後は破棄されることがほとんどだからです。まずは廃棄物の削減を、次は再利用可能な風呂敷などを検討し、継続して温暖化対策に取り組んでいきます。

思い切って商品の 「包装紙なし」を決断!



創業100年を迎えた
外郎の老舗
ほんだや
蕨薬匠 本多屋
TEL. 083-925-1600
hondaya-uiro.co.jp



ごみを出さないよう 省資源梱包を 徹底!

川上直美 さん



資源を大切にすること、ごみを減らすことを考え、省資源梱包出荷、梱包用品の再利用に取り組んでいます。当店で時計からバッグまで様々な商品を扱っていますので、いろんな大きさの箱を揃え、適したサイズが選べるよう工夫しています。ほか、リサイクル商品やエコバッグの販売にも力を入れています。



1897年創業の
老舗時計店・ブランドショップ
ブランドショップ Parino
TEL. 083-928-8662
www.instagram.com/parino_1994



斎藤 匡光 さん

できるだけガソリンを使わず、CO₂排出量の削減に協力したいので、自転車通勤しています。また、夏場はクールビズを意識し、エアコンの設定温度を下げ過ぎないようにしています。その代わりに、患者様には氷タオルを使っていたりしています。氷タオルは繰り返し使え、熱中症対策にもなるのでおすすめです。

CO₂排出量を減らすため 通勤には 自転車を利用!

痛みの少ないソフトな
仰向けの施術が魅力の整骨院

新しい整骨院
TEL. 083-902-5711
raisan.jp





山口大学にて
地元の米を使った
おむすびを配布



山口県農業協同組合

山口県山口市小郡下郷2139 TEL. 083-973-3500
www.ja-yimg.or.jp

山口県農業協同組合では、地産地消の取り組みにSDGs貢献への概念をプラスした「県消費産」を推奨しています。「たべるーのむーかざるー産地応援プロジェクト」、「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、7月に山口大学にて、山口大学の学生へおむすびの配布を実施しました。「お米」を通じて、健康的な食生活のあり方や農業・農村の役割、食糧問題を考えるきっかけづくり、「山口米」を含む山口県産農畜産物の消費拡大を目指した取り組みです。



自然環境を守るため
森林セラピー基地内を整備



森林セラピー山口(一般社団法人もりとわ)

山口県山口市徳地野谷1842 TEL. 0835-56-5234
www.shinrin-therapy-yamaguchi.jp

森林セラピー体験を通して環境保全の意識を高める
山口市徳地の森にて「森林セラピー体験」を提供し、自然の心地よさ、森の多面的な機能を伝える活動を展開。五感に焦点をあてた、より意識的に自然に触れる体験の中で、自然そのものへの親しみ、環境保全や温暖化防止への関心を深め、自然に優しいライフスタイルやサステイナブルな行動へとつながることを目指します。また、森林セラピー基地内の草刈りや歩道整備など、自然環境を守る活動も積極的に行っています。

「県消費産」促進のため 山口大学でおむすびを配布

山口県農業協同組合では、地産地消の取り組みにSDGs貢献への概念を



丸太や太い枝、
木材製品の端材は
焼き付け用の薪として再利用



多々良造園

山口県山口市吉敷上東3-6-7 TEL. 083-922-3309
www.tatara-zouen.com

庭を造るときは、プラスチック製品や樹脂製品は極力避けて、やがて土に還る天然材を可能な限り使用するほか、剪定の際に発生する細い枝や葉っぱ、芝生の刈りカスや除草した草は腐葉土に、丸太や太い枝、ウッドフェンスやウッドデッキ等の木材製品の端材は細く割って焼き付け用の薪にするなど、環境に配慮した多彩な取り組みを積極的にを行っています。また、荒れた緑地空間や放置・未使用の緑地空間の有効活用の取り組みにも力を入れています。



店内に並ぶ
再生したアンティーク
ビンテージ家具



ロール lool

山口県山口市陶1265-1 TEL. 083-985-0525
www.loolool.jp

再生しながら長く、大切に。
賢い家具の使い方を推進
北欧ビンテージ家具を再生し、販売。約300坪の店舗に豊富なアンティーク・ビンテージ家具が並びます。「良い家具は再生できるし、修理ができる」を基本の考えとし、国家資格をもつ木工職人が注文を受けてから自社工房でカスタムを行います。また、再生しながら繰り返し長く使うことを前提とした家具のサブスクリプション(レンタル)も展開。「家具を長く、大切に、繰り返し使う」ことで、エシカル消費の推進に取り組みます。

環境を考えた資材選びと 草や端材の再生に仕組み

庭を造るときは、プラスチック製品や樹脂製品は極力避けて、やがて土に還る天然材を可能な限り使用するほか、

山口市にはCOOL CHOICEに積極的に取り組む企業や団体がたくさん!
その中から、地産地消やエシカル消費、リサイクルなど、
5つの事例をご紹介します。



まるまつ食堂

山口県山口市黄金町11-13 okiza1座 TEL. 083-922-5060
11:30~17:30(お昼 14:00 LO/お茶 17:00 LO)
水曜定休日(祝日の場合は翌日休)
www.instagram.com/marumatsu_shokudou

旬の食材や地産地消に
こだわった料理を届け
食への意識を変えていきたい
「医食同源」をコンセプトに、旬の食材や地産地消にこだわった料理を提供する「まるまつ食堂」。山口市の建築会社「DWORKS」の社員食堂が発展し、2022年3月にまちの食堂としてオープンしました。
社員食堂のはじまりは、施主さんやご近所さんからのお裾分けや、上棟式の際にいただく地元の食材を社内のキッチンで調理して、お昼ごはんとしてみんなで食べたことから。健康的であること、素材を可能な限り使い切ることにこだわった手製のお昼ごはんをみんなで食べることは、いつしか社内でも習慣化していきました。
季節の野菜をふんだんに盛り込んだお昼ごはんを日記のようにホームページやSNSに載せたところ、各方々から「食べてみたい!」との声が届くようになった。しかし、料理好きな社員が本業の合間に作るお昼ごはんだったため、当初は一般開放するつもりはなかったそうです。
「料理人の中谷さんとの出会いと、新社屋への移転が一般開放に踏み切るきっかけになりました」と話すのは広報担当の高橋さん。社員食堂の専属料理人として中谷さんを迎えたところ、調理が済んだ後のキッチンに、野菜の残りくずがほとんどなかったことに驚いたそう。「ナスの皮が漬物になっていたり、出汁をとった後の昆布や鰹節が佃煮になっていたりと、全てをありがた



料理人の中谷さん(右)とスタッフの渡壁さん

たくいただこうという気持ちも伝わってききました。それに、「食は健全な精神の源」という中谷さんの考え方にも感銘を受けました」。中谷さんの料理を味わううちに、社員たちは、「地域の方たちにもこの健康的な食を届けたい」と思うように。中谷さんの料理を届けることで、食や食材への意識を変え、フードロスもなくしていただけるのではと考えたそうです。
まずは数量限定のお弁当からスタートし、現在は、お昼時間にできるだけ山口県産の食材を使った日替わりの定食を、お茶時間にスイーツを提供しています。日替わりの定食は、「旬膳定食」と「旬血定食」の2種。お品書きには、その日使った食材、食材に含まれる栄養やもたらす効果などを細かく記し、言葉での食に関する発信も忘れません。
食や食材への意識を変えようとする「まるまつ食堂」の挑戦はまだ始まったばかり。今後の展開が楽しみです。

2022年8月から10月までの月1回、tysテレビ山口「ちぐまや家族 plus²」では、
 特集コーナーで「COOL CHOICE 山口市11の取り組み」を紹介。
 担当したのは、「tysテレビ山口 COOL CHOICE 応援リーダー」の木村那津美アナウンサー。
 地球温暖化防止のために1人ひとりができる取り組みを市内各所で体験しました！

COOL CHOICEで 未来に幸せを plus!

おさらば！ 特集コーナー「はじめよう かしこい選択」

全3回の放送内容をさらっとおさらば。もっと知りたくなったあなたは、
 「COOL CHOICE 山口市11の取り組み」公式WEBサイトをチェック！▶▶▶



8/13(土)放送 自転車を利用しよう

山口市内の駅やバス停、観光地など26カ所で利用可能な、スマートフォンアプリでレンタル・返却できるシェアサイクルを体験！CO₂を出さないエコな移動手段「自転車」や公共交通機関の利用をおすすめするとともに、エコドライブやクールビズ・クールシェアについても紹介しました。



9/10(土)放送 エシカル消費をしよう

「環境や人、社会に配慮して作られたものを積極的に購入しよう」という取り組み「エシカル消費」とともに、「コープ ここと いずみ店」にて様々な商品に付いている認証ラベルを紹介。ワンウェイプラスチックをなくすことや、配達車によるCO₂排出量低減のため宅配便を1回で受けとることも呼びかけました。



10/8(土)放送 ウォームビズ・ウォームシェアしよう

ウォームビズ・ウォームシェアとは、「過度な暖房に頼らず、冬を快適に過ごすライフスタイル」のこと。温泉を利用するのもその一つです！湯田温泉の観光回遊拠点施設「狐の足あと」で、全身の血流を促進して体を温める「足湯」を体験するとともに、省エネ機器への買い換えや地産地消、旬の食材を残さず食べることも呼びかけました。



tysテレビ山口 COOL CHOICE 応援リーダー
 木村 那津美 (テレビ山口 アナウンサー)

REPORT

今日から私もCOOL CHOICE!

「COOL CHOICEって何？」と思っていた私ですが、番組を通じて理解が深まり、さらに、自転車の利用やエコドライブ、省エネ機器への買い換えなど、実はすぐに取り組めることがたくさんあるとわかりました。

特に印象に残っているのは、初めて知った「エシカル消費」の認証ラベル。これまでは素通りしていました。でも、これからは「せっかくならこつちを買ってみようかな」と思うはず。

そして、「暑いから涼しい図書館へ行こう」や「分別が面倒だから初めからラベルレスのペットボトルを買おう」など、私たちが日頃行っている何気ない選択も、実は立派なCOOL CHOICEだと判明！気づかないうちにいろんなCOOL CHOICEを実践していることに驚いたとともに、自分の意識が徐々に変わっていくのを感じました。

番組を見られた方も、残念ながら見逃してしまった方も、今一度暮らしを振り返ってみてください。すでに取り組んでいたCOOL CHOICEに気づくかも！暮らしの中に1つplusしてみようと思っ
 てもらえたら嬉しいです！

木村那津美



まるでイタリアン!! トマトすき焼き鍋

国産牛肉や、地元で作られているこんにゃくを買うことで、生産者や産地の応援に！
 コープやまぐちでは、生産者と消費者を結ぶ「産地直結(産直)」商品を取り扱っています。
 「産直」マークが目印です。



レシピピ
 エシカル
 おうちで簡単!

【具材】(4人前)
 ・牛肉(国産)薄切り…400g
 ・トマト…3個
 ・玉ねぎ…2個
 ・パプリカ…1個
 ・コープ生芋糸こんにゃく…1袋
 ・オリーブ油…大さじ2

【割下】
 ・しょうゆ…100ml
 ・酒…100ml
 ・みりん…100ml
 ・水…100ml
 ・砂糖…大さじ1

【作り方】
 ① トマトと玉ねぎはくし切り、パプリカは1cm幅に、こんにゃくはみじん切りにする。
 ② 鍋にオリーブ油とこんにゃくを入れ香りが出てきたら、トマトを周りに並べ、真ん中に玉ねぎとパプリカ、糸こんにゃくを加えて2〜3分火にかけ、割下を入れて煮る。
 ③ 最後に牛肉を1枚ずつ乗せて火を通し、お好みでパプリカをちらし、溶き卵につけていただく。
 【シメ】残った煮汁にうどん2玉を入れ、お好みでオリーブ油、ブラックペッパーをかけ小ねぎを散らす。

レシピ提供: コープやまぐち



My COOL CHOICE vol. 2 2022年10月発行 発行元: 山口県 環境部 環境政策課
 〒753-0214 山口市大内御城496番地 TEL: 083-941-2181 E-mail: kankyo@city.yamaguchi.lg.jp
 企画制作・編集: 株式会社コア アートディレクション&デザイン: 野村勝久(株式会社野村デザイン制作室)
 ライター: 藤井香織 撮影: 菓子谷梨沙 イラストレーション: 日比野尚子
 印刷: 大村印刷株式会社 企画協力: テレビ山口株式会社